



# 園長だより

第1号



新渡戸文化子ども園  
平成26年4月21日



## 「セカンドチャンス」と「仏の顔も三度まで」

ご入園、ご進級おめでとうございます。入園式、保護者会とご協力ありがとうございました。1年間、どうぞよろしく願いいたします。

新しい先生、新しいお部屋、新しいお友達で、緊張気味の様子でしたが、少しずつ慣れ、元気な笑顔が見られるようになりました。大人でも新しい環境に慣れるまでには、3日、3週間、3カ月、3年かかると言われることがありますね。子どもは、順応性が大人より高いですから、もうじき慣れてくることと思います。

集団生活で守らなければならない一番大切なお約束を、4月にはどのクラスでも折に触れ先生方がお話をします。「人を傷つけることはいけない。」も、その一つです。

絵本を思い切り投げ友達に当たってしまい怪我をしてしまったら、「絵本は投げるものではないよね。お友達が怪我をして痛そうですよ。」と、伝えます。

それでも止めず、またお友達に当たってしまい大怪我になってしまいそうになったら、先生は親心（このままだとまわりの子が怪我をしてしまう。このままだとこの子は仲良く遊べる友達がなくなってしまう。。。）を持って、心を込めて怒ります。すると通じたのでしょうか？ピタッとしなくなりました。二度目で先生の親心が通じました。

日本では、「仏の顔も三度まで」という言葉がありますね。間違えをしたとしても、三度までなら仏のような心で許す、オーストラリアでは、「セカンドチャンス」という言葉が常で、二度までなら何もなかったように許すという事です。しかし、これはあくまでも大人が間違えを犯した時の戒めの言葉のように思います。この二つの言葉を、大人として、二度三度以上同じ間違えを繰り返さないよう心掛けていきたいですね。

幼児期の子ども達には、何度でも繰り返し、正しい事と間違っていることを親心を持って伝え、社会性の成長を促します。先生は、押してみたり、引いてみたり、優しくかったり、厳しかったりと、プロの言葉がけで子ども達にわかりやすいよう伝えます。

その根底には「この子なら言えば必ずわかってくれる。」という信頼関係が大切になってくるでしょう。

### ぱんだぐみ男児(自分の好きな飴の話をして)

(男児)「あめには、むらさきもあるんだよ！」  
(先生)「ほんとう？葡萄味でおいしいね。」  
(男児)「白もあるよ！」  
(先生)「なに味？」  
(男児)「あめ味！」  
(先生達) 大きな笑顔

### ● お知らせ ●

- ・ **集金場所変更**—8：30～19：00まで、学園事務局で集金を預かることとなりました。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ・ **長時間保育**—長時間保育担任の先生はシフト制で出勤しております。また、園長・主任のどちらかは、朝夕の長時間保育時間帯には職員室におります。緊急時等はお知らせください。